

小平市における 共生社会実現のための 参加のデザインに関する研究

視覚伝達デザイン学科（3年次環境デザイン）と株式会社ブリヂストンが2021年より実施している共同研究です。「共生社会」とは、これまで十分に社会参加できていなかった人々が、積極的に参加し貢献することができる社会とされています。

2023年度には、障害者週間に合わせて小平市内で開催されている「異才たちのアート展」において、子どもや障害者などを対象に障害児通所支援施設、福祉作業所、公民館などと連携し、当事者参加のプロジェクトを企画。学生が関係者に取材し、当事者の日常や作品の魅力を伝える展示と対話型鑑賞ワークショップ、障害者や来場者との共同作品制作などを株式会社ブリヂストンの企業ミュージアム「Bridgestone Innovation Gallery」で展示・開催しました。

本学では、地域で暮らす一人ひとりが尊重され主体的に行動する機会の創出を目指し「関係のデザイン」「参加のデザイン」として2009年度から授業等で取り組んでおり、地元企業の株式会社ブリヂストンとの取り組みによって、地域のネットワークがっさう広がりました。

- 地域の福祉作業所、就労支援施設、障害児通所支援施設への訪問と取材
- 障害者の権利、インクルーシブデザインなどについての理解
- 関わりの中で発見した課題や魅力をどう伝えるか考え、企画にする
- 作品展示やワークショップを通して、企業・住民・大学の関わりがさらに広がる



Bridgestone Innovation Galleryで開催した「異才たちのアート展」の展示を計画



「異才たちのアート展」出展作者とともに企画したギャラリートーク



クイズ形式の対話型鑑賞をデイホーム利用者の方々と実施



連携先

株式会社ブリヂストン
障害者週間のつどい実行委員会
アートでつながる私たちのコミュニティ
小平市中央公民館けやき青年教室
みんなでつくる音楽祭実行委員会
銀河鉄道株式会社



担当教員

齋藤啓子
後藤映則
花崎攝（視覚伝達デザイン）



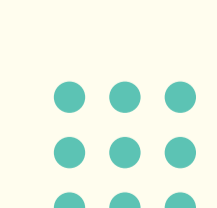
参加学生の学科

視覚伝達デザイン学科



実施期間

2021年～



参加学生人数

21人（2023年）